

伊豆市公共交通再編検討業務について

○目的(経緯)

伊豆市では令和3年度に「伊豆市地域公共交通計画」を策定し、伊豆市の持続可能な地域公共交通の形成に資する地域公共交通の活性化及び再生を推進するため事業を実施しているところだが、令和5年度の中伊豆温泉病院移転や令和7年度の新中学校開校といった転機に合わせ、市内公共交通網の見直しが必要とされている。

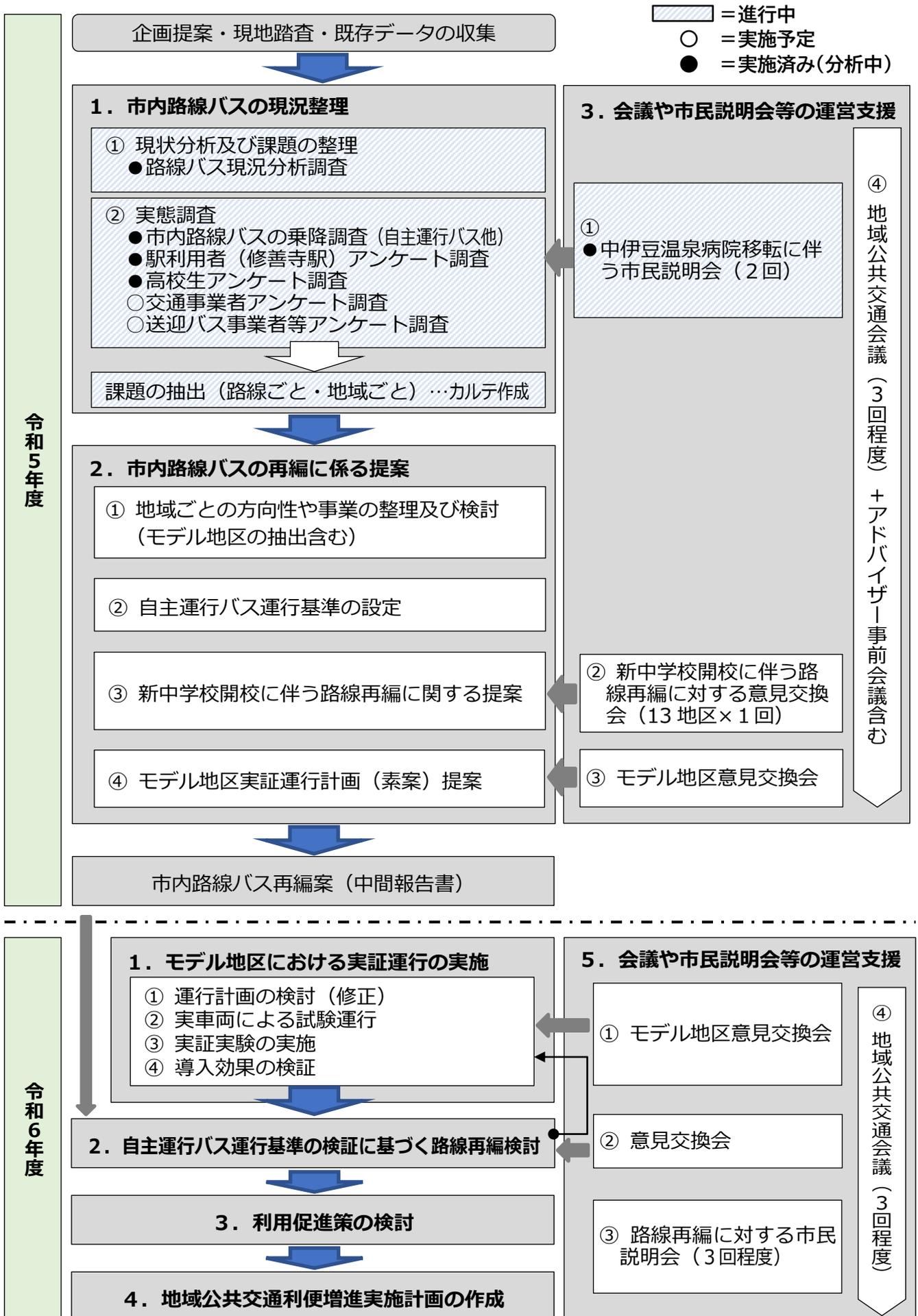
特に令和7年度の新中学校開校にあたっては、伊豆市の現状把握や課題の整理をしたうえで、中学生の登下校をはじめとした地域の足を確保するため、伊豆市の公共交通網の大幅な再編を行う必要がある。

同時に、地域住民の移動ニーズへ適正に対応する効果的な公共交通を実現させるため、地域の実情に即した新たな地域交通の導入の必要性を整理するとともに、利便性の向上を図っていく。

また、自主運行バスをはじめとした、伊豆市が公共交通施策に投じる費用は年々肥大化しており、伊豆市の財政状況を踏まえながら、適正な公共交通網の再編を行う。

以上の理由から、今年度「伊豆市公共交通再編検討業務」として、公共交通の再編に向けた検討業務を行う。

業務全体構成と進捗状況

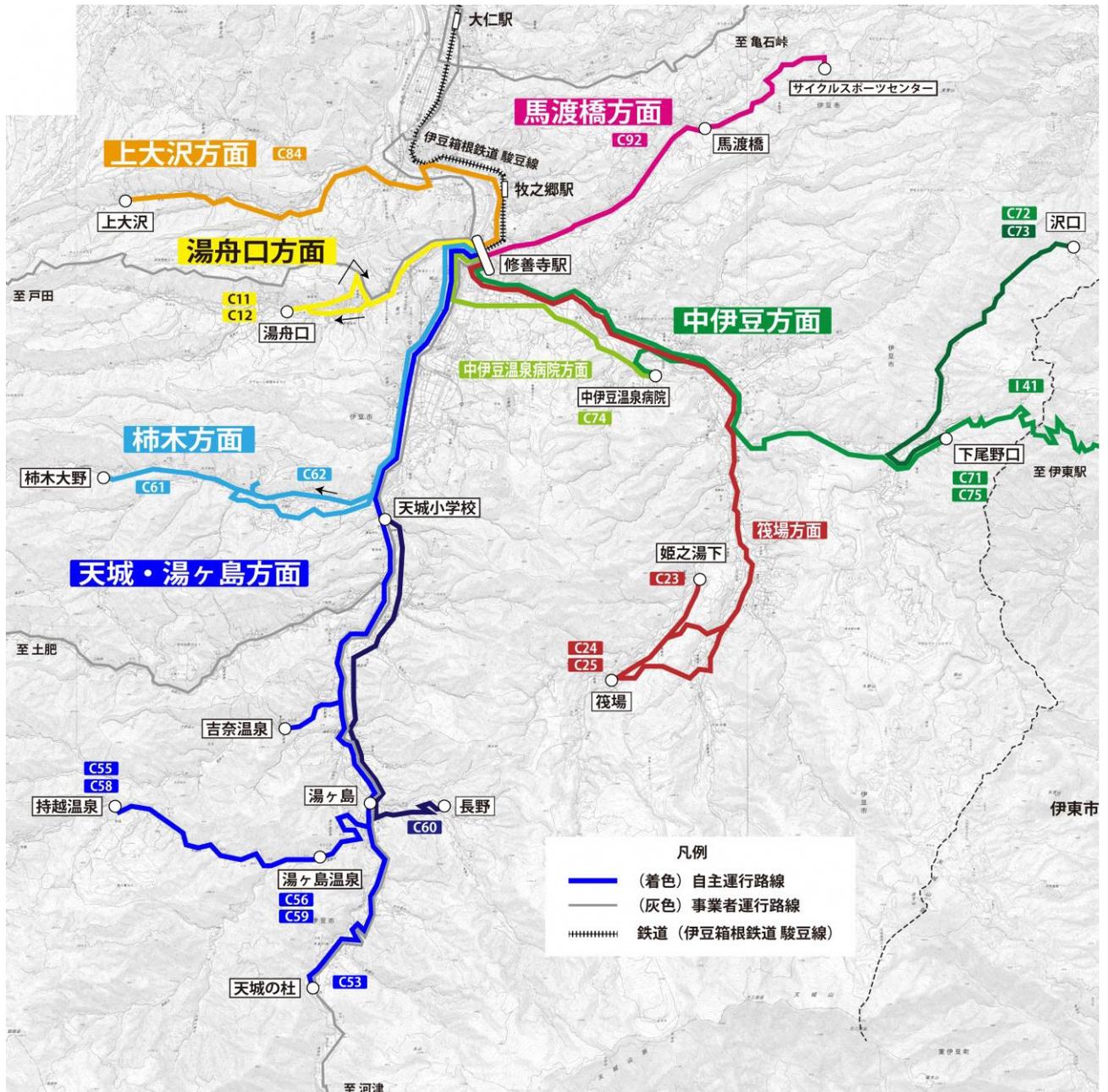


市内公共交通の現状について

○伊豆市自主運行バス

(1)運行路線図

- ・伊豆市自主運行バスは修善寺駅を起点に、全20系統が運行
- ・19系統は伊豆市内で完結するが、I41(修善寺駅～伊東駅)の伊東市内部分は伊東市自主運行バスとして運行



(2)運行路線の現況整理

- ・令和3年度の平均乗車密度が 1.0以下の路線は C11、C61、C73
- ・令和3年度の収支率では全路線で50%以下となっており、柿木方面が低い傾向
- ・C73(下尾野口～沢口)は平均乗車密度・収支率ともに全路線で最も低く、令和4年実施の乗降調査では1日の利用者が0人

■自主運行バス 路線一覧

方面	系統番号	路線名	運行回数 (R4 平日・往復計)	運行時間帯	平均乗車密度 (R3)	収支率 (R3)	1日利用実績 (R4乗降調査)	1便当たり 利用実績 (R4乗降調査)
湯舟口	C11	修善寺・湯舟口線(温泉)	4回	朝・夕	0.4	9.9%	9人	2.3人
	C12	修善寺・湯舟口線(寺山口)	4回	朝・夕	2.2	49.7%	24人	6.0人
筏場	C23	修善寺・姫之湯下線	5回	朝・夕	データ	データ	53人	10.6人
	C24	修善寺・筏場線(貴僧坊)	9回	日中	なし	なし	67人	7.4人
	C25	修善寺・筏場線(地藏堂)	5回	日中	※	※	41人	8.2人
天城・湯ヶ島	C53	修善寺・天城の杜線	11回	朝・夕	2.2	36.0%	79人	7.2人
	C55	修善寺・持越温泉線	3回	朝・夕	3.0	46.1%	44人	14.7人
	C56	修善寺・湯ヶ島温泉線	9回	日中	1.7	28.1%	33人	3.7人
	C58	修善寺・持越温泉線 (吉奈温泉経由)	2回	朝・夕	2.5	38.7%	25人	12.5人
	C59	修善寺・湯ヶ島温泉線 (吉奈温泉経由)	2回	昼	2.1	34.8%	18人	9.0人
	C60	天城小・長野線	4回	朝・夕	1.3	26.9%	27人	6.8人
柿木	C61	修善寺・柿木大野線	4回	朝・夕	1.0	15.3%	21人	5.3人
	C62	柿木循環	2回	朝(循環)	1.5	16.5%	8人	4.0人
中伊豆	C71 /C72	修善寺駅・下尾野口線	9回	朝～夕	2.0	33.5%	53人	5.9人
	C73	下尾野口・沢口線	5回	朝・夕	0.1	3.7%	0人	0.0人
	C74	修善寺・中伊豆温泉病院線	16回	日中	1.3	28.6%	35人	2.2人
	C75	下尾野口・修善寺線 (中伊豆温泉病院経由)	2回	朝・夕	1.7	24.7%	22人	11.0人
	I41	修善寺・伊東線	12回	日中	1.9	26.9%	124人	10.3人
上大沢	C84	修善寺・上大沢線	6回	朝・夕	2.7	44.7%	89人	14.8人
馬渡橋	C92	修善寺・馬渡橋線	8回	朝・夕	1.3	30.3%	24人	3.0人
全路線計			122回		1.7	30.5%	796人	6.5人

※筏場方面(C23・C24・C25)は令和4年度から自主運行化

出典:市提供資料

